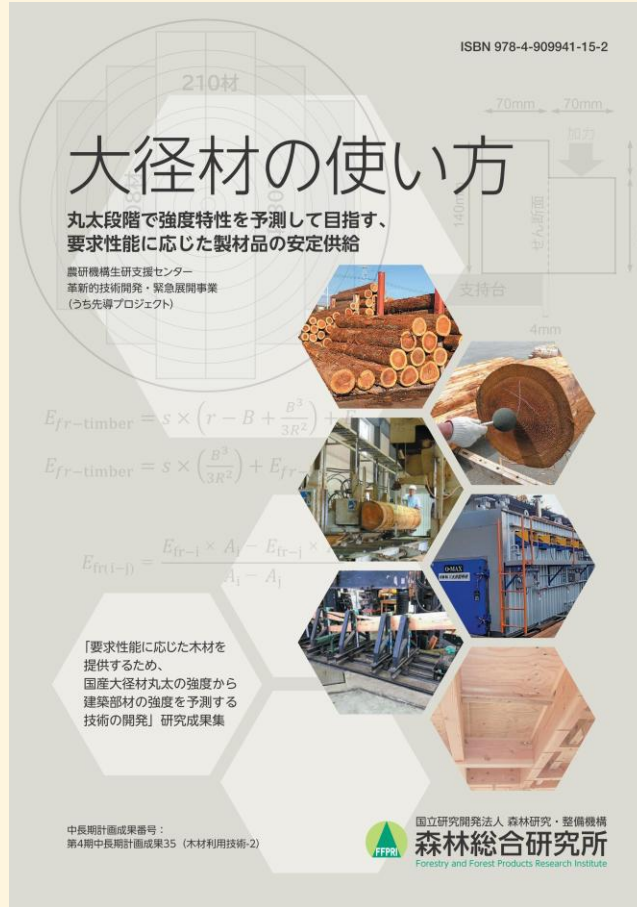


増える大径木～有効利用に向けた様々な研究・分析～



「季刊森林総研」表紙より



「大径材の使い方」表紙より

大径木を有効活用してその価値を高めるため、試験研究機関や大学等、様々な場所で、様々な形で、研究や分析が進められています。

大径木の価値が高まり、森林所有者へ還元されることが森林資源の循環利用につながることから、これら研究・分析の成果が積み上がっていくことが非常に重要と考えられます。

※参考資料

- H22 鹿大演研報37:79～92(2010)スギ大径材の有効利活用に関する研究
- H26.3 スギ造林大径木を公共建築等において利用拡大するための技術開発
- H27.1 スギ大径材利用の課題と新たな技術開発 (林業改良普及双書No.179)
- H30.9 「複合林産型」で創る国産材ビジネスの新潮流-第7章「スギ大径材問題」とその打開策
- H30 木材保存Vol.44-5(2018)公開シンポジウム「君たちは大径材をどう使うか」への参加記
- R3.3 大径材の使い方 R3.9 季刊森林総研 R6.3 森林技術
- R6.6 林経協季報 杉径(そまみち)No.73_(特集)大径化する国産優良材の需要確保に向けて 国産材のマーケットスペースを探す

